新山以思衣	旧
秋田県優良業務表彰要綱	秋田県優良業務表彰要綱
(表彰の目的) 第1条 県が発注した業務委託のうち、優秀な成績で業務を完了したものを表彰することにより、調査及び設計を 行う技術者の育成・確保を図り、もって社会基盤の品質を確保することを目的とする。	(表彰の目的) 第1条 県が発注した業務委託のうち、優秀な成績で業務を完了したものを表彰することにより、調査及び設計を 行う技術者の育成・確保を図り、もって社会基盤の品質を確保することを目的とする。
(表彰の対象) 第2条 対象は、表彰実施年度の前年度に完了した業務委託とし、秋田県委託業務成績評定に基づき評価されたものとする。	(表彰の対象) 第2条 対象は、表彰実施年度の前年度に完了した業務委託とし、秋田県委託業務成績評定に基づき評価されたも のとする。
(表彰の名称) 第3条 名称は、「秋田県優良業務表彰」とする。	(表彰の名称) 第3条 名称は、「秋田県優良業務表彰」とする。
(表彰の基準) 第4条 次のすべてを満足すること。 (1)当該業務の成績評定が優秀であること。 (2)当該業務において事故等による減点がないこと。 (3)当該企業における各業務の成績が良好であること。 (4)当該企業において各業務の成果品について追完又は損害賠償が実施されてないこと。 (5)当該企業において労働災害がないこと。 (6)他の模範となるものと認められる業務であること。	(表彰の基準) 第4条 次のすべてを満足すること。 (1)当該業務の成績評定が優秀であること。 (2)当該業務において事故等による減点がないこと。 (3)当該企業における各業務の成績が良好であること。 (4)当該企業において各業務の成果品について <u>瑕疵修補</u> 又は損害賠償が実施されてないこと。 (5)当該企業において労働災害がないこと。 (6)他の模範となるものと認められる業務であること。
<ul> <li>(選考委員会)</li> <li>第5条 表彰すべき業務を選定するため選考委員会を置き、その構成は別表第1のとおりとする。</li> <li>2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき業務を決定するものとする。</li> <li>3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。</li> <li>4 幹事会は、事務局が作成した優良業務表彰候補者名簿に基づいて、部門別に当該業務の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。</li> </ul>	<ul> <li>(選考委員会)</li> <li>第5条 表彰すべき業務を選定するため選考委員会を置き、その構成は別表第1のとおりとする。</li> <li>2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき業務を決定するものとする。</li> <li>3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。</li> <li>4 幹事会は、事務局が作成した優良業務表彰候補者名簿に基づいて、部門別に当該業務の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。</li> </ul>
(表彰) 第6条 被表彰者は、受託企業の代表者(共同企業体の場合にあっては、構成員のそれぞれの代表者)及びその業 務を担当した管理技術者とする。	(表彰) 第6条 被表彰者は、受託企業の代表者(共同企業体の場合にあっては、構成員のそれぞれの代表者)及びその業務を担当した管理技術者とする。
(事務局) 第7条 事務局は、技術管理課に置く。	(事務局) 第7条 事務局は、技術管理課に置く。
(補足) 第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。	(補足) 第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。
附則 この要綱は、平成27年4月1日から施行する。 平成28年6月1日一部改訂 平成29年3月9日一部改正 平成30年3月16日一部改正	附則 この要綱は、平成27年4月1日から施行する。 平成28年6月1日一部改訂 平成29年3月9日一部改正 平成30年3月16日一部改正

令和元年5月20日一部改正	令和元年 5 月 2 0 日一部改正	
令和5年3月27日一部改正		